

令和7年度

入 園 案 内



習志野市立津田沼幼稚園

習志野市津田沼4丁目5番1号

TEL&FAX 047(453)8677

津田沼幼稚園の教育Q & A

Q 幼稚園は「学校」ですか？

A 幼稚園は、子どもが初めて出会う「学校」です。

小学校・中学校のように義務教育ではありませんが、学校教育法により学校教育に位置付けられています。

また、幼稚園教育は教科書を使った小学校以降の学習とは異なります。幼児期の発達の特性を踏まえ、豊かな遊びや様々な活動を通して「生きる力」の基礎を育み、小学校以降の学習の基盤を培います。

「生きる力」の基礎とは？

基本的な生活習慣 健康な心と体
人とのかかわる力・協同性 主体的な生活態度
思考力の芽生え 道徳性の芽生え 等

「育みたい資質・能力」は？

- ① 「知識及び技能の基礎」～豊かな体験を通して、感じたり、気付いたり、わかったり、できるようになったりする。
- ② 「思考力・判断力・表現力の基礎」～気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。
- ③ 「学びに向かう力、人間性等」～心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。

Q 津田沼幼稚園の教育目標と併せて、どのような子どもに育てたいですか？

A 教育目標

(1) 元気な子（やり遂げる行動力）

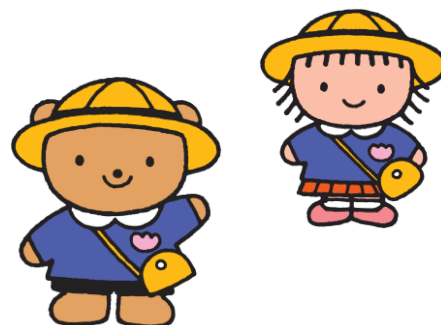
- ◎基本的な生活習慣が身についている子
- ◎病気をしないで元気に登園する子
- ◎戸外で元気に遊ぶ子
- ◎新しいことやできないこともやってみようとする子

(2) やさしい子（共感・協調する心）

- ◎友達と関わり、思いやりのある子
- ◎気持ちの通じる友達がいる子
- ◎きまりや約束を守る子

(3) よく考え、工夫する子（豊かな創造・想像力）

- ◎自分のしたいことを見つけて遊ぶ子
- ◎友達の動きを見たり真似をしようとしたりする子
- ◎自分で考えようとする子
- ◎わからないことを聞こうとする子
- ◎繰り返して取り組む子
- ◎失敗しても最後までやろうとする子
- ◎聞いたことをイメージすることができる子
- ◎思いや考えを表現する子



特に朝から生き生きと生活できる子の育成に努め、基本的生活習慣の定着を目指し、次の3つを年間重点テーマとして掲げています。

「早寝早起きをしよう」「朝ごはんをしっかりと食べよう」「挨拶をしよう」

更に、園内研究のテーマ「**幼児が意欲的に遊ぶための環境を探る**」を通して、幼児が意欲的に遊ぶための環境や指導のあり方について継続的に研究し、健康な心と体を育てています。

Q 津田沼幼稚園の教育の特色は何ですか？

A (1) 保育内容の充実に努めています。

- ・ いろいろな活動に親しみ、楽しんで取り組む中で、自ら生活に必要な決まりや習慣・態度が身につくようにしています。(挨拶、衣服の着脱、手洗い、うがい、給食の準備・後片付け、遊具の片付け等)
- ・ 一人一人の幼児が十分に遊びに取り組めるように環境や教材を整え、具体的な体験を通して自主性・主体性を育てています。
- ・ 友達とかかわって遊ぶ活動(砂遊び、鬼遊び、ごっこ遊び等)や行事(誕生会、運動会、発表会、芋掘り、遠足等)を通して、社会性や友達との関わりを大切にしています。
- ・ 文字・数量などは日常の生活や遊びの中で、興味・関心に合わせて取り入れています。
- ・ 小動物の世話や、植物の世話(種をまく、苗を植える、水やり、雑草を抜く等)・収穫などを通して生長、変化に関心を持ち、いたわりや優しさ・思いやりの心を育てています。
- ・ 絵本を見る・話を聞く・話す・絵を描く・制作をする・リズム遊びをするなどの表現活動を通して、豊かな感性と表現力を培っています。

(2) 幼稚園と小学校との連携教育を進めています。

- ・ 小学校入学後の生活が円滑に進められるよう津田沼小学校との連携を図っています。特に小学校一年生、五年生の担任と年長組担任が定期的に話し合いの機会をもち、お互いの情報交換を行いながら教育内容を検討したり、子ども同士の交流会を計画したりしています。年少組は小学校四年生と子ども同士の交流会を行ったり、小学校の校庭で遊ぶ経験を計画したりしています。
- ・ 津田沼小学校が「体育」の研究校であることから、本園では幼児期にふさわしい運動発達についても研究を推進し、広い校庭で思い切り走る経験をしたり、互いに授業を見たり、情報交換したりしながら幼小連携に努めています。

(3) 近隣の保育園との交流を進めています。

- ・ 遊びの広がりや深まりが必要な時期を捉えながら、子ども同士の交流の場を設けています。

(4) 地域との交流を図り、地域に信頼される開かれた幼稚園づくりを目指しています。

- ・ 子ども達は地域の中で育つという基本理念のもと、地域の行事に参加したり、菊田公民館と交流したりしています。また、津田沼小学校の運動会参加を始め、地域のいろいろな方々との交流も図り、教育の充実に取り組んでいます。

(5) 人をつなぐ、心をつなぐ子育て支援に努めています。

- ・ 地域の未就園児と保護者が安全に遊べる場の提供を目指し、全市的な取り組みの「子育てふれあい広場」(年6回)と併せて、本園独自の施設開放「にこにこ広場」(月2回程度)を開催しています。また、学期ごとの個人面談、保護者懇談会、誕生会後の懇談などを利用し、幼稚園のこと・わが子の悩み・子育てについて等、職員や保護者同士、気楽に話す場を設けています。

(6) 完全給食を実施しています。

- ・ 給食は、津田沼小学校給食室で調理され、出来立ての給食が小学校と幼稚園を結ぶ通路を使って運ばれます。献立は、津田沼小学校栄養士が季節や栄養のバランス・子どもの嗜好等を考え、作られています。また、習志野市地場産の葱・にんじん・大根等の食材を取り入れています。
- ・ 幼稚園では楽しい食事を心がけながら「食育」を推進し、いろいろな食材をバランスよく食べることの大切さを知らせたり、基本的な食事のマナーが身に付くように指導したりしています。

Q 指導計画はありますか？

A 幼稚園の豊かな遊びや活動は、綿密な指導計画から生まれます。

幼稚園教育要領に則して教育課程を編成し、その中に5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)の内容を網羅して、年間指導計画・週案・日案等を作成しています。このような指導計画に基づいて、日々の学級経営・個別指導を行っています。

また、指導計画の立案や日々の子どもへの関わりについて、職員で話し合ったり、研修会や専門講座に参加したりして、常に職員の専門性を高めています。

Q 健康診断はありますか。

A 年に一回健康診断があります。(内科・歯科・眼科)

その他、歯科衛生士によるむし歯予防指導があります。(年1回)

Q 教育時間はどうなっていますか？

A

登園時間	8:50~9:00	
降園時刻	年少組 (4歳児)	4月 11:00
		4月第3週以降 14:00※預かり保育開始
	年長組 (5歳児)	14:00

Q 通園及び送迎はどうなっていますか？

A 徒歩通園を原則としますが、通園距離や緊急時等に応じ、自転車通園も可としています。

詳細については、園の方に御相談ください。

幼児にとって歩くことは、健康面(体力向上)・生活体験の面・情緒面等の発達を促し、交通安全のマナーを身につける等から大切であると考えています。

Q 主な経費はどのくらいですか？

A 令和元年度以降の設定でお答えします。

- ・入園料 無 料
- ・保育料 無 料（令和元年10月より）
- ・給食費 1食280円×食数
- ・教材費・暖房費 無 料

Q 令和5年度の学級数・園児数及び職員数は？

A 学級数・園児数

R6. 10. 11現在

学 年	組 名	学級園児数	学年園児数
年少組 (4歳児)	ひよこ	8	8
年長組 (5歳児)	ほ し	9	9
合 計			17

職員数

園 長	教 頭	担 任	園 務	担任補助	預かり保育補佐員
1	1	2	1	1	1

Q 「預かり保育」とは？

A 幼稚園の教育時間終了後、希望する在園児を当該園で預かる教育課程外の教育活動です。
17年9月より全市立幼稚園・こども園で行っております。

(令和6年度)

☆実施日……次の日以外です。※夏季休業中～18日間実施

- ・土・日曜日及び祝日
- ・始業式や職員研修日
- ・年少組は4月第3週から開始します。
- ・その他、園長が指定した日

☆保育時間…通常の保育終了後、午後5時まで

☆費用……1回 450円（長期休業日1日利用は1回900円）

☆おやつ……利用者が持参します。

Q 園区と学区は違いますか？

A 園区と学区は異なります。小学校に入学する時は、小学校区となります。

